

令和3年第6回可児市議会定例会 委員会代表質問通告一覧表 12月2日（3日・6日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	中村 悟 (建設市民 委員会)	<p><u>1. 外国籍市民への行政情報伝達と生活環境について（市民部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>今後も外国籍市民の多国籍化や居住地の広域化は進むことが予想され貧困問題と合わせて、諸問題をどのように対応していくかが大きな課題となる。可児市多文化共生推進計画の実現に向け行政をどう進めていくかを問う。</p> <p>質問1 外国籍市民の市ホームページの利用について。 質問2 外国籍市民の情報収集について。 質問3 外国籍市民の地域社会における共生について。 質問4 母国語教育について。 質問5 夜間中学について。 質問6 通訳等増員について。</p>

令和3年第6回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 12月2日（3日・6日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	澤野 伸 (会派きずな)	<p><u>1. 児童虐待防止への取り組みを問う（こども健康部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>全国の児童相談所が、児童虐待として対応した件数が20万件を超えた。警察や近隣住民からの通告・相談が増えている。増加の一途をたどる事態に対し、虐待の兆候を把握し、支援強化策や関係機関との連携強化を問う。</p> <p>質問1 子育て中の家庭を孤立させない支援体制は。 質問2 児童虐待に関しての相談、並びに虐待通告の現状は。 質問3 情報共有としてすべて警察等と全件把握されるものか。 質問4 人材育成と専門職の配置の検討は。 質問5 対応協議の場への第三者の参加検討は。 質問6 医療的虐待事例の増加が指摘されているが、本市の実情は。</p> <p><u>2. 子どもの自転車事故防止に向けた取り組みを問う（教育委員会事務局長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>自転車と歩行者が絡む死亡・重傷事故で、中学生、高校生を含む10～19歳の未成年者が自転車に乗っていたケースは約4割を占めている。子どもが加害者になることも珍しくない。事故の対処法や備えについて問う。</p> <p>質問1 交通事故を起こしてしまった時の対処方法についての啓発は。 質問2 交通事故を起こした場合の責任の中身の理解に向けた取り組みは。 質問3 リスク回避の必要性や保険の存在など保護者への啓蒙は。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
2	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 脱炭素社会に向けたさらなる取り組みを (観光経済部長、市民部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>地球温暖化は、ついに気候危機といわれるまでに進んでしまいました。世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて 1・5 度の上昇にとどめるにはどうしたらよいか、市の取り組みは。</p> <p>質問 1 工業団地進出企業にどのような脱炭素化対策を求めているのか。</p> <p>質問 2 市内事業所への脱炭素化への支援を。</p> <p>質問 3 住宅新築・リフォーム助成条件に脱炭素化を。</p> <p>質問 4 気候市民会議を立ち上げて、脱炭素化の政策提言をしてもらう。</p>
3	天羽 良明 (可児未来)	<p><u>1. 本市の観光振興をどうしていく考えか (観光経済部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>新型コロナウイルスが社会に存在することが当たり前の状態を想定した観光振興が必要と考える。地域資源である「ぎふワールドローズガーデン」や「美濃金山城跡」を活かした観光振興の今後について問う。</p> <p>質問 1 コロナウイルスが存在することを前提とした本市ならではの観光振興は。</p> <p>質問 2 「ぎふワールドローズガーデン」に変わったがどうプラス効果をあげていくか。</p> <p>質問 3 「金山越」を PR し犬山市との観光交流のためどう連携をしていくか。</p> <p>質問 4 第 29 回全国山城サミット恵那大会にどのように関わっていく考えか。</p>
4	板津 博之 (会派きずな)	<p><u>1. 「ぎふワールド・ローズガーデン」をどう活かすか (観光経済部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>花フェスタ記念公園は 10 月 9 日から「ぎふワールド・ローズガーデン」へ名称変更された。これまで世界のバラ園として親しまれてきたこの公園を、本市として今後どう活用していくのか。</p> <p>質問 1 今回、名称変更となった経緯と目的は。</p> <p>質問 2 公園施設はどのようにリニューアルされたか。</p> <p>質問 3 第 2 期可児市総合戦略での位置付けは。</p> <p>質問 4 バラのまち「可児」を今後どう PR するのか。</p> <p>質問 5 市民団体 (ボランティア) の活動をどのように広げていくのか。</p> <p>質問 6 市内業者との連携 (民間活用) の計画は。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	大平 伸二 (真政会)	<p><u>1. 市内の歴史的資源の保存と整備をしている団体との連携や支援を問う</u> <u>(観光経済部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>明智城跡、美濃金山城跡など多くの山城跡や木曾川左岸遊歩道など自然豊かな市民の憩いの場が整備されている。各団体が保存と環境整備を継続的に続ける中で、観光イベント以外のサポートについての支援体制を問う。</p> <p>質問1 市内の歴史的資源「明智城跡、美濃金山城跡、木曾川左岸遊歩道」などを保存と環境整備（維持管理）している団体と観光交流イベント以外の維持管理はどのような連携しているのか。</p> <p>質問2 保存と環境整備（維持管理）を継続的に活動している団体への活動の支援はできないか。</p> <p>質問3 継続的に活動を続けるための人材育成支援について協力できないか。</p> <p><u>2. (仮称) 地域応援制度の進捗状況を問う (市民部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>地域の住民自治の一端は、自治会が中心で担ってきている。少子高齢化や無関心さなど社会情勢の変化で担い手不足等で運営にも課題が出てきている。新たな住民自治の仕組みづくりの地域応援制度の進捗状況を問う。</p> <p>質問1 (仮称) 地域応援制度の仕組みづくりの進捗状況は。</p> <p>質問2 (仮称) 地域応援制度のプロジェクトチーム立ち上げの考えはお持ちですか。</p>
6	渡辺 仁美 (立憲民主党 市民の声)	<p><u>1. 未来ある子どもたちのためにオーガニック給食の導入を</u> <u>(教育委員会事務局長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>可児市の児童・生徒の学校給食数は、1人あたり通常年約200回。9年間で1800回。成長期の大切な食事の場と言える。残留農薬による健康被害の心配がないオーガニック食材を用いた給食の導入を願う。</p> <p>質問1 食材の主な産地と調達方法の留意点について。</p> <p>質問2 残留農薬が人体にもたらす影響の認識について。</p> <p>質問3 オーガニック給食実現が容易でない要因について。</p> <p>質問4 1日2パターンのメニューの実現可能性について。</p> <p>質問5 食材単品オーガニック化からの始動について。</p>

		<p>2. 中学校の制服をジェンダー平等へ（教育長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>可児市立中学校の制服について保護者や生徒のみなさんが自発的に考え始めている。他県ではスカートでなくスラックスの着用も可とする学校が増えた。市の制服のジェンダー平等化についての考えを尋ねる。</p> <p>質問1 現行の、可児市立中学校における制服のあり方について。 質問2 各校において制服についてどのように検討しているか。 質問3 制服のジェンダー平等化の推進について。</p>
No.	質問者	質問項目（答弁者）
7	野呂 和久 （可児市議会 公明党）	<p>1. 新型コロナワクチンの追加接種にむけて（こども健康部長）</p> <p>一問一答方式</p> <p>11月に入り市民の感染防止の意識向上等から、コロナの感染者はゼロが続いている。今年からコロナワクチンの接種も始まり、12歳以上の対象者の8割以上が2回目の接種を終えた。追加接種の報道もあり対応を問う。</p> <p>質問1 ワクチン接種の予約受付体制について。 質問2 副反応の状況。</p>
8	中野 喜一 （可児未来）	<p>1. GIGA スクール構想の現状と課題（教育長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>I C T技術の社会浸透はG I G Aスクール構想により教育現場でも加速している。通信環境と1人1台端末の配布が整った為、今後はそれらの利活用の方法論が焦点になると思われる。</p> <p>質問1 1人1台端末の配布による学習状況などの変化は。 質問2 教職員の負担軽減につなげることができるか。 質問3 オンライン授業の準備はどの程度できているか。 質問4 オンライン授業の問題点はどのような事が想定されるか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
9	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. リニア工事汚染残土管理は適正か (市民部長、建設部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>本市内から百万m³余の残土が搬出され、美濃帯地層から汚染リスクが高い酸性土壌が排出される。汚染残土専用の「仮置場」と環境保全対策、JR事業者の残土管理は適切かを問う。</p> <p>質問1 要対策土の判定の手法と基準はどうか。</p> <p>質問2 要対策土(汚染土壌)の見過ごし、「取りこぼし」による環境汚染の心配はないか。</p> <p>質問3 大森財産区内の汚染残土「仮置場」の盛土構造と安全対策は。</p> <p><u>2. 補聴器購入の助成制度の創設を (福祉部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>高齢化によって聴力が低下し、日常生活や活動に支障が出ている人が増加した。認知症への第一要因とも言われている。高齢者の生きがい創設のためにも補聴器の購入助成を検討してはどうか。</p> <p>質問1 補聴器購入費助成制度の創設・拡充を。</p>
10	山根 一男 (立憲民主党 市民の声)	<p><u>1. 学校給食費の徴収者変更後の課題は (教育委員会事務局長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>学校給食費の徴収者が、本年度より学校から学校給食センターに替わった。すでに公会計化はされていたが、変更のねらいは何か。また、給食費滞納率等への悪影響等が懸念されるが対策は。</p> <p>質問1 学校給食費の徴収者変更の目的と経緯は。</p> <p>質問2 このことによりどのような点が改善されたか。</p> <p>質問3 給食費の未納者は、この制度導入前と比べてどうか。</p> <p>質問4 移管に伴う課題点や今後の対応は。</p> <p><u>2. 情報弱者への防災ラジオの配布について (総務部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>災害時や防災に関する情報伝達の方法として防災行政無線やすぐメールか等にネットによる伝達方法があるがいずれも問題点がある。特に情報弱者と呼ばれる市民に対する補完措置として防災ラジオを配布してはどうか。</p> <p>質問1 防災行政無線やすぐメールかのに補完手段としての防災ラジオをどう捉えるか。</p>

質問2 情報弱者（情報の入手や利用について困難を抱える人）への伝達についてどう考えるか。

質問3 他市町の動向や成果をどうとらえるか。

3. 職員提案制度の充実を（企画部長）

一括答弁方式

当市における職員提案制度については、以前よりあまり活発とは言えない状況が続いている。職員の改革意識や勤労意欲を高め、市政の効率化や市民サービスの向上を目指して職員提案制度を改善してはどうか。

質問1 市の職員提案制度はどのように行われているか。

質問2 市の職員提案制度は、改革意識の醸成や市民サービスの向上に貢献しているか。

質問3 提案制度はこのままで良いか、今後の改善予定は。

4. 市内公共施設の貸館の営利・非営利の区別は（文化スポーツ部長）

一括答弁方式

可児市文化創造センターにおいて、貸館料金は劇場以外について、1円でも入場料を取ると料金が倍になり、営利企業と同じ扱いとなる。この制度は、福祉センターや地区センターとも異なる。見直すべきではないか。

質問1 可児市文化創造センターの利用料金の区分が劇場とそれ以外で違うのは何故か。

質問2 市内の施設によって営利・非営利料金の考え方や表記が違うがそれで良いのか。

質問3 市民活動や地域活動の活性化を推進する料金区分が必要だと考えるが見解は。

5. 兼山小学校の小規模特認校制度導入について（教育長）

一括答弁方式

兼山小学校においては、令和4年度より小規模特認校制度が導入される。ここに至る経緯と、今後の見通し、課題点解決について問う。

質問1 小規模特認校制度の特色と導入に至る経緯は。

質問2 兼山小学校の特色や魅力、小規模特認校としてのメリットは何か。

質問3 現在の応募状況や、遠隔地から兼山小学校に通学する手立てはあるか。

6. 安心安全の水を守るための水道管老朽化対策は（水道部長）

一括答弁方式

本年 10 月に和歌山市において水道管の老朽化が原因と思われる事故があり、市民生活に多大な影響を及ぼした。本市における水道管の老朽化対策や、水の供給が止まることのないような方策があるか。

質問 1 法定耐用年数 40 年を超える基幹管路はどれくらいあるか。

質問 2 水道管の老朽化対策を効率的に進める上での課題は何か。

質問 3 和歌山市のような市内全域で断水するような災害は起こり得るか。

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。